

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

国際観光・万博課（内線：7236）
→事業実施：国際観光課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)世界から選ばれる高付加価値な観光地づくり事業	70,000	0	70,000	70,000				

トータルコスト 83,303千円（前年度 0千円） [正職員：1.7人]

主な業務内容 契約事務、ツアー造成・検証・販売、意見交換、計画策定等

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

本県ならではの自然や歴史、食、民芸などの地域資源を磨き上げ、高付加価値旅行者の誘客を図るため、本県マスタープラン（令和5年度末策定予定）に基づき、「高付加価値な観光地づくり」の推進に取り組む。

※観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」（国庫10/10）の2年目事業

2 主な事業内容

（単位：千円）

細事業名	内容	予算額
1 高付加価値な受入体制の整備	ウリ（魅力的コンテンツ）、ヤド（上質な宿泊施設）、ヒト（高付加価値旅行者のニーズを満たす人材）、アシ（シームレスな移動）、コネ（高付加価値旅行者誘客に通ずるコネクション）の受入体制を整備する。 【主な施策】 ・富裕層旅行を扱う旅行社等によるモニターツアーの実施検証、販売 ・高品質な映像コンテンツや専門サイト等でのプロモーション ・県内関係者によるワークショップ、意見交換会の実施 ・人材育成研修（ガイド、通訳、コンシェルジュ等）の実施 ・地域における推進体制の構築 ・専門家による宿泊施設等の視察調査 ・海外富裕層を顧客に持つ旅行社等とのネットワーキング ・マスタープランの更新	70,000 国庫10/10
2 マスタープランに基づく具体的な事業計画の検討・作成	マスタープランに基づく「ヤド」「ヒト」「アシ」の事業計画を作成し、マスタープランに反映する。	
合計		70,000

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

高付加価値旅行者の誘客に向けた受入体制を整備し、地域の本物の価値を打ち出すことで、世界から選ばれる観光地づくりを推進する。

(2) 取組状況

- ・鳥取・島根エリアにおけるキックオフミーティングの開催（令和5年4月）
- ・本事業の理解促進やマスタープラン策定に向けた県内関係者ミーティングの開催
- ・富裕層に理解が深い外国人招聘者によるモニターツアーの実施検証
- ・富裕層を顧客に持つ旅行社等との県内調整窓口を担う地域コーディネーター育成研修の実施
- ・今後の具体的な観光地づくりを実施していく上で指針となるマスタープランの策定（令和6年3月）

※マスタープランには、地域の将来像と成果目標、誘客のターゲットと戦略素材、受入環境に係る課題と解決方針、5年間の工程表等を明記予定。現在、専門家や県内DMO等によるワーキンググループで、精神的な豊かさを重視し特別な体験を求めるSelect富裕層（ターゲット）に対する、三徳山修験体験（戦略素材）の打ち出し方等について協議を重ねている。

(3) 改善点

今後マスタープランに基づき、戦略素材の磨き上げやガイドの人材育成等を行い、計画的な受入体制整備を進めていく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

国際観光・万博課（内線：7633）
→事業実施：国際観光課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) アドベンチャーリズム推進事業	13,000	0	13,000	13,000				

トータルコスト 16,913千円（前年度 0千円） [正職員：0.5人]

主な業務内容 企画、契約事務、ツアー実施・検証、課題解決、視察・意見交換

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

高付加価値なモデル観光地づくりにおける本県マスタープラン（令和5年度末策定予定）に基づき、高付加価値な観光地づくりを推進していく中で、本県ならではの自然や文化、温泉、アクティビティ体験等を通して旅行者の自己変革や学びにつなげる質の高いアドベンチャーリズムを推進し、高付加価値旅行者の誘客を図る。

※観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」（国庫10/10）の2年目事業

※アドベンチャーリズムとは、アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行のこと。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	細事業名	内容	予算額
1	アドベンチャーリズムツアーの開発	・本県ならではの自然や文化に焦点をあてたコンテンツの発掘、選定、磨き上げ ・アドベンチャーリズムモニターツアーの開発、実施 ・アドベンチャーリズム先進事例の視察調査 ・（一社）日本アドベンチャーリズム協議会との連携（ネットワークイベントへの参加、モニターツアーへの招聘、同協議会アカデミーによるセミナー開催などを検討）	13,000 国庫10/10
2	販売プロモーション	高品質な映像コンテンツの制作・発信や専門サイトの構築等による情報発信	
合計			13,000

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

新しい旅の形としてアドベンチャーリズムが注目されており、令和5年度は専門家による県内視察調査やハイエンドな外国人目線でのモニターツアーを実施した。令和6年度は山陰海岸ジオパークや大山隠岐国立公園など、この地ならではの自然を舞台としたアクティビティや文化を更に磨き上げ、世界の高付加価値旅行者の誘客につなげる。

(2) 取組状況

- ・富裕層インバウンド専門家による県内の自然アクティビティ体験等の視察調査
- ・「アドベンチャートラベルワールドサミット（ATWS）2023」（北海道）への参加
- ・ATWSへの参加を通じてつながりをつくった高付加価値旅行者に理解の深い外国人を招聘したモニターツアーの実施検証
- ・今後の具体的な観光地域づくりを実施していく上で指針となるマスタープランの策定（令和6年3月）

※マスタープランには、地域の将来像と成果目標、誘客のターゲットと戦略素材、受入環境に係る課題と解決方針、5年間の工程表等を明記予定。現在、専門家や県内DMO等によるワーキンググループで、精神的な豊かさを重視し特別な体験を求めるSelect富裕層（ターゲット）に対する、三徳山修験体験（戦略素材）の打ち出し方等について協議を重ねている。

(3) 改善点

高付加価値な観光地づくりを推進していく中で、戦略的に本県ならではのアドベンチャーリズムを打ち出していく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

国際観光・万博課（内線：7633）
→事業実施：国際観光課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 小型ビジネスジェットを活用したトライアルツアー実施事業	7,000	0	7,000	7,000				
トータルコスト	11,695千円（前年度 0千円） [正職員：0.6人]							
主な業務内容	企画、契約事務、ツアー実施・検証、課題解決							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
<p>高付加価値なモデル観光地づくりにおける本県マスタープラン（令和5年度末策定予定）に基づき、高付加価値な観光地づくりを推進していく中で、小型ビジネスジェットの活用により高速で快適な移動の実現、高度化を図る。</p> <p>※観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」（国庫10/10）の2年目事業</p>								
2 主な事業内容								
<p>ビジネスジェットの運営会社やビジネスジェット商品を販売する専門旅行会社と連携し、域外から本県への移動手段として、小型ビジネスジェットを活用したトライアルツアーを実施し、快適でシームレスな移動整備につなげる。</p>								
3 事業目標・取組状況・改善点								
<p>(1) 事業目標 旅の移動時間を短縮し効率性を追及する富裕層のニーズを見据え、令和5年度はビジネスジェット運営会社の初飛行を本県で実施したほか、専門旅行会社の県内視察調査を行う予定。令和6年度は高付加価値旅行者の誘客とインバウンドの更なる拡大に向けて、小型ビジネスジェットを活用した域外からの移動の高度化に取り組む。</p> <p>(2) 取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスジェットを活用した移動の高度化を見据え、ビジネスジェット運営会社等による県内遊覧及び意見交換を実施。 ・ビジネスジェットを活用した付加価値の高いツアー商品造成に向けて、専門旅行会社等による県内視察を実施（令和6年3月） ・今後の具体的な観光地域づくりを実施していく上で指針となるマスタープランの策定（令和6年3月） <p>※マスタープランには、地域の将来像と成果目標、誘客のターゲットと戦略素材、受入環境に係る課題と解決方針、5年間の工程表等を明記予定。現在、専門家や県内DMO等によるワーキンググループで、精神的な豊かさを重視し特別な体験を求めるSelect富裕層（ターゲット）に対する、三徳山修験体験（戦略素材）の打ち出し方等について協議を重ねている。</p> <p>(3) 改善点 今後マスタープランに基づき、ビジネスジェットを活用した計画的な交通整備を進めていく。</p> </p>								

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光・万博課（内線：7958）
→事業実施：政策戦略本部関西本部万博推進室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
関西パビリオン・鳥取県ゾーン設置運営事業	289,479	4,000	285,479				289,479	

トータルコスト 312,954千円（前年度 7,899千円）〔正職員：3人〕
 主な業務内容 関西パビリオン鳥取県ゾーンの展示・運営準備、関西パビリオン多目的スペース運営計画策定・準備

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

2025年に開催される大阪・関西万博に向けて本県展示ゾーンの設置準備等を進めるとともに、本県の豊かな自然、食や先人から引き継がれた伝統文化、産業等本県の魅力を国内外に発信するための催事計画や運営準備を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

項目	内容	予算額
鳥取県ゾーン展示制作・施工	本県展示ゾーンの展示制作経費	248,842
鳥取県ゾーン運営	本県展示ゾーンの運営にかかるマニュアル作成、スタッフ募集、研修等経費	38,637
関西パビリオン多目的スペース運営	多目的スペースで行う催事の実施計画作成、準備等経費（郷土芸能披露や産業展示、食フェスタなどを実施）	2,000
合計		289,479

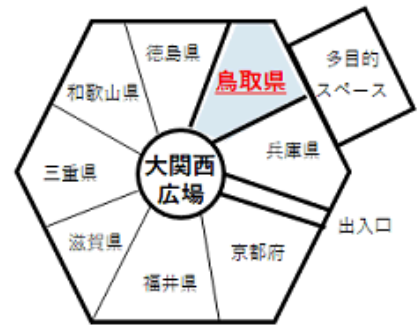
3 事業目標・取組状況・改善点

【事業目標】

- (1) 鳥取県ゾーン来場者数：約30万人
- (2) 大阪・関西万博を契機とした鳥取県への誘客者数：約740万人
大阪・関西万博期間中（令和7年4月～10月）の県内入込客数を、過去10年間の最多とする。

【取組状況及び今後の予定】

- (1) 関西パビリオン鳥取県ゾーン
 令和5年2月～6月：鳥取県ゾーン展示基本計画策定
 令和5年10月～令和6年3月：鳥取県ゾーン展示実施計画策定
 令和6年4月～令和7年3月：鳥取県ゾーン展示制作、運営計画策定
- (2) 「大阪・関西万博鳥取県準備推進プロジェクトチーム会議」の開催
 市町村及び観光や経済分野の関係機関等で構成するPTをこれまで3回開催し、大阪・関西万博に向けて本県の取組状況の情報共有を行うとともに、機運醸成及び誘客について連携して取組むことを確認した。



【関西パビリオン鳥取県ゾーン配置図】

4 2025大阪・関西万博の概要

- (1) 開催期間：令和7年4月13日（日）～10月13日（月）184日間
- (2) 開催場所：夢洲（大阪市臨海部）
- (3) 来場者数（想定）：約2,820万人（うち外国人350万人）
- (4) テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン「Designing Future Society for Our Lives」
- (5) 関西パビリオン出展府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県（共通展示のみ出展）、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

国際観光・万博課（内線：7958）
→事業実施：政策戦略本部関西本部万博推進室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取県は万博のサテライト会場！国内外誘客対策事業	31,000	0	31,000	10,000			21,000	

トータルコスト 54,475千円（前年度 0千円） [正職員：3人]

主な業務内容 大阪・関西万博に向けた誘客施策（とっとりリアル・パビリオン）及び機運醸成の実施・準備

事業内容の説明

【「デジタル田園都市国家構想交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催される大阪・関西万博において、本県の豊かな自然・食や先人から引き継がれた伝統文化、他には無い独創的な産業などの本県の魅力を磨き上げ、万博開催期間中は、鳥取県全体を万博のサテライト会場「とっとりリアル・パビリオン」として、国内外に発信し、市町村や関係機関等官民一体となって本県への誘客を図る。

2 主な事業内容

(単位：千円)

細事業名	項目	内容	予算額
1 誘客対策（とっとりリアル・パビリオンの実施）	ポータルサイト構築・運営	県内観光地情報やおすすめルート、旅に必要な情報（天気、交通情報等）等を一元的に掲載するポータルサイトの構築・運営	2,000
	広報	インバウンドを中心に、国内外からの誘客を促進するため、SNSやWEB広告など各国・地域で訴求力のある方法による広報を実施	10,000
	EXPO2025関西観光推進協議会負担金	万博を契機とした関西観光を推進するため関西広域連合に加盟する各府県が協働で旅行商品商談会やPR動画制作、旅行博出展等を実施	5,000
2 自治体参加催事	実施計画作成・準備	万博会場内の催事スペースで行う自治体参加催事の実施計画作成、準備等経費	6,000
3 機運醸成	県内の機運醸成	県内新聞、テレビ広告や万博開幕〇〇日前などの節目に合わせたイベントを開催	8,000
合計			31,000

3 事業目標・取組状況・改善点

【事業目標】

大阪・関西万博を契機とした鳥取県への誘客者数：約740万人
大阪・関西万博期間中（令和7年4月～10月）の県内入込客数を過去10年間の最多とする。

【取組状況及び今後の予定】

「大阪・関西万博鳥取県魅力発信強化戦略会議」の開催
市町村や関係機関等官民一体となって万博の理念に沿って、本県の魅力を国内外に発信し、本県への誘客、物産振興、持続可能な地域づくり等を推進することとした。

4 とっとりリアル・パビリオンの概要

万博期間中の鳥取県を大きな万博のパビリオンに見立て、本県の魅力を磨き上げ、日本の魅力全てが詰まった万博のサテライト会場「とっとりリアル・パビリオン」として発信し、国内外からの誘客を強力に推進する。

<検討案>

- 他にない特徴的なコンテンツ（砂丘などの自然を活かしたアドベンチャーツーリズム、食パラダイス鳥取県、まんが王国とっとり等）をはじめ、県内の観光コンテンツ等の磨き上げを行うとともに、SNSやポータルサイト等で情報を発信
- 関西パビリオン・鳥取県ゾーン来場をきっかけとして来県を促すため、鳥取県ゾーン来場者を特別な体験ツアー等に招待
- リアルな鳥取を楽しむ動機付けとなる周遊観光イベントの開催
- 来県の最後の一押しとなる交通費支援や施設割引等の提供

(1) 開催期間：令和7年4月13日（日）～令和7年度末

(2) 開催場所：鳥取県全域

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課（内線：7030）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)万博国際交流プログラム（ジャマイカ）推進事業	15,000	0	15,000	15,000				

トータルコスト 22,825千円（前年度 0千円） [正職員：1人]

主な業務内容 国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

大阪府で開催される2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）へのジャマイカ参加に伴い、万博会期前の令和6年度からジャマイカ・ウェストモアランド県（平成28年度姉妹提携）及び駐日ジャマイカ大使館・在ジャマイカ日本国大使館との友好を活かした万博国際交流プログラムを実施し、ジャマイカ交流の深化、全世界に向けた鳥取県のPR等を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
1 万博国際交流訪問団派遣事業	在ジャマイカ日本国大使館主催の日本文化イベントに参加し、万博及び本県のPRを行うとともに、関係者との文化交流を実施。また、交流相手国も直面する課題等も含めた意見交換や、青少年交流の深化を目指した取組を行う。	5,000
2 青少年文化交流事業	駐日ジャマイカ大使館と連携しジャマイカの文化団体（音楽やダンス等）を鳥取県に招聘し、ナショナルデー（万博開催期間中に参加国への理解を深めるための様々な催事が行われる日。ステージイベントを中心に万博会場がその国一色に染まる。）や万博期間中に合唱・演奏することを目指して、パフォーマンスの企画・練習等を通じた交流を実施。 また、ジャマイカの万博関係者も招聘し、万博を通じてジャマイカ文化や歴史を学習する講習会等を実施。	10,000
計		15,000

※いずれも「万博国際交流プログラム」に基づいた国庫10/10（内閣官房）

3 事業目標・取組状況・改善点

本県は、平成28年度にジャマイカ・ウェストモアランド県と姉妹提携を締結して以降、スポーツ交流をはじめ青少年派遣や職員受入れなどを通じて同県との友好交流を推進してきた。また、国内で唯一ジャマイカ自治体との交流を進めていることから、駐日ジャマイカ大使館・在ジャマイカ日本大使館とも従前より密接な協力関係を構築している。

さらに令和6年は「日本・ジャマイカ外交関係樹立60周年」という節目の年でもあり、更なる日ジャマイカ交流発展に向けて取り組む必要がある。こうした背景を元に、来る令和7年度の大阪・関西万博へのジャマイカの参加決定にあわせ、国の行う万博国際交流プログラムを活用し、友好交流の深化はもとより、全世界への本県のPRを行っていく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
1 目 企画総務費

交流推進課（内線：7108）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際交流推進事業	122,250	113,791	8,459			<収益事業収入等> 18,688	103,562	
トータルコスト	230,235千円（前年度 221,390千円）〔正職員：13.8人〕							
主な業務内容	友好交流地域との国際交流の積極的な推進 国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県と友好交流地域等との交流を推進するため、各種交流事業を実施するとともに、鳥取県とゆかりのある交流組織等を活用して情報発信等を行う。

なお、国際情勢に変化が生じた場合は、その都度機動的かつ柔軟に対応する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

細事業名	内容	予算額
1 国際交流推進費	友好交流地域と以下の事業を行うこととし、国際情勢に変化が生じた場合は、その都度機動的かつ柔軟に対応する。 ・両地域の職員及び留学生の派遣・受入れ ・中学生、高校生等の派遣・受入れ ・専門分野（医療、農業等）における研修生受入れ及び専門家派遣 ・両地域で開催されるスポーツ関係のイベント（サイクリング、マラソン等）への参加 ・民間団体や県民等による訪問団派遣 ・オンラインを活用した交流 等	42,000
2 友好交流地域周年記念事業費	本県が友好交流協定を締結している韓国江原特別自治道等について、交流開始から30周年を迎えるため、一層の友好促進及び県民への国際理解を図るため、行政団の相互派遣や青少年・民間の交流を促進する記念事業を実施する。	30,000
3 交流ネットワーク活用事業費	・海外県人会の活動や青年海外協力隊員の帰国報告会等への助成 ・世界とっとりファンクラブ会員等に対する本県の情報提供等の委託 ・（一財）自治体国際化協会の海外事務所運営費用及びJETプログラムに係る経費を負担 ・海外との各種訪問団派遣・受入れや急遽の渡航を伴う業務等に対応するための経費 ・交流推進課の標準事務費	50,250
合計		122,250

3 事業目標・取組状況・改善点

これまで、友好交流地域との青少年・観光・経済・スポーツ等様々な分野における交流を通じて相互理解と関係強化を推進するとともに、各種人的ネットワークの活動を支援することで鳥取県内外の国際交流を促進してきた。今後も引き続き友好交流を深め、発展的な関係を構築するとともに、海外とのさらなる交流人口拡大につなげる。

また、令和6年度においては韓国江原特別自治道等との友好交流30周年を迎えるため、記念事業を実施し一層の相互理解を図る。

なお、海外県人会や自治体国際化協会等の関係団体とも引き続き連携を図る。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課（内線：7842）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
友好交流地域 青少年スポーツ 交流事業	2,396	2,000	396				2,396	
トータルコスト	5,526千円（前年度 5,119千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、受入に係る事務手続、受入当日の対応							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
米子ソウル便等の交通インフラを活用して、北東アジアの友好交流地域とスポーツを通じた交流促進や相互理解を図る。								
2 主な事業内容								
友好交流地域における青少年スポーツ交流（韓国江原道開催）								
3 事業目標・取組状況・改善点								
米子ソウル便等の交通インフラを活用して、北東アジアの友好交流地域が開催するスポーツイベントへの参加等を通じ、青少年の交流や相互協力の拡大を図る。								
自治体職員協 力交流事業	8,374	8,374	0				8,374	
トータルコスト	9,939千円（前年度 9,933千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	関係機関との協議・調整、専門研修の企画							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
本県の国際協力の一環として、友好交流先の地方自治体職員を「協力交流研修員」として受け入れ、本県が持つノウハウを習得するとともに人的交流を深めることで、本県の国際交流への協力を得る。								
2 主な事業内容								
<ul style="list-style-type: none"> ・受入人数：2名（予定：中国・吉林省1名、ジャマイカ・ウェストモアランド県1名） ・受入期間：10カ月程度 								
3 事業目標・取組状況・改善点								
友好交流地域から自治体職員を受け入れ、研修及び職務を通じて、両友好地域の風土・職務等に精通した人材を育成するとともに、鳥取県の習俗や日本語の習得を通じて、帰国後に鳥取に関わり交流発展に寄与する人材を育成する。								
なお、平成8年度から受け入れを開始し、今年度までに中国吉林省、韓国江原道、ジャマイカ・ウェストモアランド県からの研修員を中心に計37名を受け入れている。								

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課（内線：7595）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	55,503	51,731	3,772				55,503	

トータルコスト 60,198千円（前年度 56,409千円） [正職員：0.6人]

主な業務内容 補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

地域における国際交流理解等を推進するため、（公財）鳥取県国際交流財団が行う各種事業へ助成を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	補助率	予算額
1 多言語情報発信事業	ホームページの運営、SNSによる情報発信、機関紙の発行	1/2	880
2 コミュニケーション支援事業	多文化共生コーディネーターの配置、日本語クラスの運営、医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣、防災・災害時支援事業、地域の多文化共生推進交流会の実施	3/4(多文化共生コーディネーターの配置10/10)	5,737
3 人材の育成事業	医療・コミュニティ通訳ボランティアの確保・育成事業	3/4	958
4 私費留学生奨学金の支給	県内の高等教育機関に在籍する私費留学生への奨学金の支給	10/10	3,632
5 共通事業	事務所運営費、職員人件費	10/10	44,296
合計			55,503

3 事業目標・取組状況・改善点

コロナ禍の間は一部事業についてオンラインを活用しながら実施した。令和6年度は対面での取組を中心に、関係機関と連携しながら、国際交流財団への助成を通じて本県における国際交流理解及び多文化共生社会の推進を図る。

多文化共生推進事業	31,201	31,760	△559	14,936	<寄附金> 300	15,965
-----------	--------	--------	------	--------	--------------	--------

トータルコスト 36,679千円（前年度 37,218千円） [正職員：0.7人]

主な業務内容 相談窓口運営に係る連絡調整、委託契約事務、研修会の開催等

事業内容の説明

【「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

外国人総合相談窓口の設置等、外国人住民が安心安全に生活できる環境整備を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
1 外国人総合相談窓口運営事業	県内3箇所に設置している多言語（英語・中国語・ベトナム語）対応の「外国人総合相談窓口」を運営する。（国1/2）（委託先：（公財）鳥取県国際交流財団）	20,000
2 鳥取県多文化共生サポーター運営事業	外国人住民と行政等との橋渡し役を務める鳥取県多文化共生サポーター制度を運営する。（委託先：（公財）鳥取県国際交流財団）	650
3 （新）地域における外国人住民との共生推進事業	企業・地域住民と外国人住民との共生を目指し、多文化共生の現状と課題、国際理解について学ぶ研修会を開催する。	930
4 鳥取県における地域日本語教育体制整備事業	日本語教育人材の育成、企業等関係機関との連携など、日本語教育に必要な全県的な体制整備を行う。（国1/2）（委託先：（公財）鳥取県国際交流財団）	8,769
5 ウクライナ避難民受入支援事業	本県におけるウクライナ避難民の生活や言語等に係る支援を行う。	852
合計		31,201

3 事業目標・取組状況・改善点

令和元年度に外国人総合相談窓口の運営を国際交流財団に委託して以降、関係機関と連携しながら県内在住外国人の総合相談窓口として、来訪や電話等による様々な相談に対応している。令和5年度からは、地域の日本語教育の充実化を目指した体制整備にも着手している。令和6年度もこうした取組を継続し、在住外国人が安心安全に生活できる環境を整備する。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課（内線：7240）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内交流推進事業	1,241	1,241	0				1,241	
トータルコスト	4,371千円（前年度 4,360千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	市町村等が実施する補助事業等への助言、補助金業務、県外の鳥取県人会等との協働による情報発信等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

国内における交流人口の拡大、地域の活性化を推進するため、県内市町村及び民間団体が実施する国内交流事業を支援する。

2 主な事業内容

(1) 国内交流補助金（予算額：1,000千円）

区分	内容
補助対象事業	(1)全国各地の本県ゆかりの地域団体との新規・発展型の国内相互交流事業、複数の市町村等が連携した新たなネットワーク事業 (2)鳥取県の伝統芸能を継承している地域との交流事業 (3)新たな交流先を模索するための初期活動事業 (4)複数団体が合同で実施する国内交流事業 ※3カ年の間に実施する相互交流を対象とする。
補助対象経費	事業を実施するために必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等）
実施主体	県内市町村、民間団体
県補助率	1/2（上限額500千円）

(2) 市町村、県外県人会等との協働による情報発信（予算額：241千円）

県外で開催される催事等において情報発信を行う。

3 事業目標・取組状況・改善点

これまで、国内交流及び県外で継承されている本県発祥の伝統芸能等の継続発展を支援するとともに、県外県人会等との協働により効率的な情報発信を行ってきた。令和6年度も、交流人口の拡大及び地域の活性化を図るため、全国各地の地域等と県内の市町村や民間団体との交流を支援する。

パスポート発給事務費	35,879	36,041	△162		<手数料> 20,000	15,879	
トータルコスト	49,964千円（前年度 50,076千円）〔正職員：1.8人〕						
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等						

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

旅券法に基づく法定受託事務である旅券の申請受理、作成及び交付に関する事務を、一部民間に委託して実施する。

2 主な事業内容

区分	内容	予算額
旅券事務委託	県民からの旅券申請の受理、審査、旅券作成及び交付 ・電話案内、申請・交付窓口業務（県庁、中部及び西部総合事務所） ・旅券作成業務（県庁）	35,444
電子申請に要する機器整備	電子申請対象となる申請に対応する機器の賃貸借・保守経費	435
合計		35,879

※いずれも債務負担行為（5年間）設定済み

3 事業目標・取組状況・改善点

令和4～5年度に電子申請や手数料の電子納付などを開始し、住民の利便性が向上した。令和6年度も、窓口業務の一部民間委託を継続しながら、権限移譲した市町と連携して円滑に旅券事務を遂行していく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

まんが王国官房（内線：7801）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが・アニメツーリズム推進事業	24,260	21,310	2,950				24,260	

トータルコスト 30,520千円（前年度 27,548千円） [正職員：0.8人]

主な業務内容 企画、連絡調整、展示会出展・運営、補助金審査・交付、委託契約事務

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

まんがやアニメを活かした本県の情報発信や観光誘客を促進するため、国内外へのプロモーションや県内周遊の仕組みづくりなどを行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

細事業名	内容	予算額
まんが・アニメに特化した国内プロモーション	まんがやアニメに関係のある企業・団体の活動と連携し、国内観光誘客を図り、情報発信を行う。	6,300
まんが・アニメに特化した海外プロモーション	まんがと親和性のある海外催事等へ出展し情報発信を行う。 ・時期 令和6年7月、8月頃 ・場所 香港、台湾	6,960
まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金	まんがアニメの地域資源を活かして観光誘客等の取組を行う市町村等を支援する。	11,000
合計		24,260

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・アフターコロナの更なる観光の回復を後押しするため、アニメツーリズムを推進する。
- ・国内向けには、まんが・アニメファンに対する認知度の向上や誘客促進、海外向けには、（一社）山陰インバウンド機構が実施するデジタルパスへ統合した「まんが王国とっとり漫喫周遊パス」について、同機構と連携した取組によって来県の動機づけを図る。
- ・まんが・アニメ作品や関連団体との連携により、効果的な情報発信を行うほか、地域のまんが・アニメ資源を活用した取組を支援する。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

まんが王国官房（内線：7801）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国妖怪パワーで誘客促進事業	23,000	16,000	7,000				23,000	
トータルコスト	24,565千円（前年度 17,559千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	企画、連絡調整、展示会出展・運営、委託契約事務							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

故水木しげる氏の遺業をたたえ、妖怪文化により本県の魅力発信と観光誘客を進めるため、県内外で妖怪パワーを活かしたイベントを開催する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

細事業名	内容	予算額
水木しげる生誕祭の開催	水木しげる氏のふるさとへの功績の顕彰・共有と観光誘客を図る催事を境港市と共同で開催し、県内への誘客促進に繋げる。 ・時期 令和7年3月上旬 ・場所 境港市内	10,000
水木しげる記念館リニューアル記念事業	水木しげる記念館が令和6年4月にリニューアルオープンを迎えるに当たって、水木しげる記念館、境港市と連携して情報発信等を実施する。	5,000
調布市「ゲゲゲ忌」との連携	東映アニメの協力を得て、東京・調布で行われる「ゲゲゲ忌」に出展し、アニメをテーマにした催事を行うことにより、首都圏で「アニメ鬼太郎の聖地」としての鳥取県の認知度向上及び誘客促進を図る。 ・時期 令和6年11月下旬 ・場所 調布市内劇場、駅前広場等	4,000
米子鬼太郎空港装飾の整備	米子鬼太郎空港の装飾の整備を行い、愛称にふさわしい空港を目指すとともに、国内外への情報発信及び誘客促進に繋げる。	1,000
水木しげる展覧会等連携	“妖怪”をメインテーマとした水木しげる展覧会と連携しまんがをテーマにした本県の情報発信を行う。	3,000
合計		23,000

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・水木しげる先生の作品は、幅広い年齢層の多くのファンに愛され、本県の情報発信と観光誘客における大切な財産である。
- ・令和6年4月に予定されている水木しげる記念館のリニューアルオープンを一層の観光誘客の大きなチャンスと捉え、令和7年4月の大阪・関西万博の開幕を見据えて積極的な誘客対策に取り組む。
- ・調布市での「ゲゲゲ忌」鳥取県コラボや水木しげる生誕祭などの集客イベントは、県外からの参加を含む確実な集客が見込める恒例のイベントとして定着している。米子鬼太郎空港も愛称にふさわしい魅力的な装飾を令和5年度に実施した。これらの取組を継続する。
- ・また、県外で開催される企画展等とも連携し、鳥取県のPR展示を実施する。